

公益社団法人 日本設計工学会 創立 60 周年記念行事開催報告

1. はじめに

2026 年 5 月 23 日，明治大学駿河台キャンパスグローバルフロントにおいて，公益社団法人日本設計工学会創立 60 周年記念行事が開催された。

本記念行事は，「設計工学 6.0（人間・自然・社会＋AI が融合して，共に進化する設計工学）」を統一テーマとして開催され，記念設計フォーラム，基調講演会・パネルディスカッション，創立 60 周年記念式典および記念パーティが行われた。会員のみなならず，関連学協会，賛助会員をはじめ，多数の関係者の参加を得て，本会創立 60 周年を祝うとともに，将来の設計工学の発展について考える機会となった。

2. 創立 60 周年記念設計フォーラム

創立 60 周年記念事業の一環として，第 32 回設計フォーラム「CAD と CAD 周辺技術の 60 年とこれから」が開催された。フォーラムは，本会研究調査部会長である村上存氏の司会により進行され，創立 60 周年を迎えた本会の歩みとともに発展してきた CAD およびその周辺技術を振り返り，今後の方向性について展望するために開催された（写真 1）。

まず，静岡文化芸術大学名誉教授の望月達也氏より「2D/3D CAD アカデミアの立場から」と題して講演が行われ，教育現場における 2 次元 CAD 導入から 3 次元 CAD への発展の歴史について紹介された。続いて，株式会社電通総研の川口裕貴氏より「機械系三次元 CAD 業界の変遷と設計現場の進化」と題した講演が行われ，設計実務における 3 次元 CAD



写真 1 設計フォーラム

の普及と設計環境の変革について解説された。さらに，株式会社くいんとの石井恵三氏より「CAE とその周辺技術の発展を振り返る」と題する講演が行われ，CAD と CAE が個別に存在していた時代から，両者が統合された現在の設計環境に至るまでの技術的変遷について紹介された。

各講演では，設計支援技術の発展が設計プロセスや設計教育に与えた影響について紹介されるとともに，近年のデジタル技術や AI 技術の進展を踏まえた今後の設計環境のあり方についても意見交換がなされた。参加者にとって，設計工学の過去 60 年の歩みを振り返るとともに，将来を展望する貴重な機会となった。

3. 基調講演会・パネルディスカッション

記念設計フォーラムに引き続き，創立 60 周年記念事業の統一テーマである「設計工学 6.0（人間・自然・社会＋AI が融合して，共に進化する設計工学）」を題材とした基調講演会およびパネルディスカッションが開催された。

基調講演では，早稲田大学教授の尾形哲也氏より「設計分野における AI の利用について」と題して講演が行われた（写真 2）。講演では，近年急速に発展する人工知能（AI）技術の概要と設計・デザイン分野への応用の可能性について紹介されるとともに，設計活動における人間の創造性と AI との協調のあり方について解説がなされた。

続いて開催されたパネルディスカッションでは，「設計工学 6.0」の実現に向けて，本会副会長宮下朋



写真 2 基調講演

之氏の司会のもと、オートデスク株式会社中村翼氏、ダッソー・システムズ株式会社田口博之氏、慶應義塾大学名誉教授松岡由幸氏および本会会長岩附信行氏の4名のパネリストにより、設計分野におけるAI活用の現状や今後への期待について話題提供がなされた。その後、尾形氏を交えて、人間とAIの役割分担、設計教育の将来像、今後の設計工学の役割などについて活発な議論が行われた。

会場からも多くの質問や意見が寄せられ、AI技術が設計工学にもたらす可能性と課題について理解を深めるとともに、本会が目指すべき将来像を参加者全体で共有する有意義な機会となった。

4. 創立60周年記念式典

記念式典は宮川豊美理事の司会のもと執り行われた。はじめに、本会岩附信行会長より式辞が述べられ、本会創立以来60年間にわたる活動への謝意とともに、今後の学会発展への抱負が示された(写真3)。

続いて、来賓を代表して芸術工学会会長小林敬一氏よりご祝辞を賜り、本会創立60周年への祝意と今後の学术交流への期待が述べられた。

記念式典では、本会の発展および設計工学分野へ

の貢献を称える創立60周年記念表彰が執り行われた。

まず、設計工学分野において顕著な業績を挙げた3名に対して功績賞が贈賞された。このうち、式典出席者2名に対しては、会長より表彰楯ならびに記念品が贈呈された(写真4)。デルタ工業株式会社藤田悦則氏には「多岐にわたる設計・開発技術の実績とそれに基づく理論構築による設計工学の発展への貢献」に対して、また慶應義塾大学名誉教授松岡由幸氏には「多数の設計理論の提唱および講習会の実施による設計工学の発展への貢献」に対して、それぞれ功績賞が贈られた(写真5)。

続いて、長年にわたり本会の産学連携活動の推進に尽力し、学术界と産業界との交流促進に寄与された5名に対し特別貢献賞が贈賞された。式典出席者全員に対して、会長より表彰楯が贈呈された(写真



写真3 記念式典の会長式辞



写真4 功績賞の贈賞



写真5 功績賞表彰楯



写真6 特別貢献賞の贈賞



写真7 国際化貢献賞の贈賞



写真 8 本部賛助会員、支部賛助会員感謝状



写真 10 賛助会員代表祝辞



写真 9 功績賞受賞者の受賞挨拶



写真 11 記念式典閉会の辞



写真 12 記念式典後の記念写真撮影

6).

また、設計工学に関する国際会議の開催に際し、会議の企画および運営に尽力し、国際的な学術交流の推進と本会の国際化に貢献された関係者 32 名に国際化貢献賞が贈賞された。式典出席者 23 名に対しては、会長より表彰楯が贈呈された（写真 7）。

本会の活動を長年支援いただいた本部賛助会員 13 団体および支部賛助会員 42 団体に対し感謝状が贈呈された（写真 8）。

加えて、本会の発展に長年貢献した会員に対して特別功労賞が贈賞された。式典出席者 12 名に対し

ては、会長より賞状ならびに記念品として本会名入りのケータイマガが贈呈された。

表彰後には、功績賞受賞者による受賞挨拶が行われ、設計工学への思いや今後の発展への期待が語られた（写真 9）。

また、賛助会員を代表して武藤工業株式会社徳田真一氏よりご祝辞を頂戴した（写真 10）。

最後に村上存副会長による閉会の辞（写真 11）があり、式典出席者で記念写真撮影（写真 12）を行い、記念式典は盛会のうちに終了した。なお、記念式典出席者には、本会ロゴ入りボールペンが記念品とし

て配布された。

5. 記念パーティ

記念式典終了後、リバティタワー23階において創立60周年記念パーティが開催された。記念パーティは、宮川理事の司会のもと、岩附会長の挨拶により開会し、本会元会長・名誉員である笹島和幸氏による乾杯の発声（写真13）の後、参加者相互の交流が行われた。パーティには来賓、受賞者、会員、賛助会員など多数が参加し、本会創立60周年を祝う和やかな交流の場となった（写真14）。

祝宴の途中には、本会活動の紹介として、本部各部会および各支部の活動紹介が行われた。各組織の特色ある活動が紹介されるとともに、本会が全国規模で活発な活動を展開していることが改めて共有された（写真15）。

その後、本会綿貫啓一副会長より、設計工学ならびに本会のこれからの10年に向けた展望と期待が語られ、中締めが行われた（写真16）。その後もし



写真13 笹島和幸名誉員による乾杯



写真14 祝宴



写真15 関西支部紹介



写真16 綿貫啓一副会長祝宴中締め挨拶

ばらく歓談が続き、創立60周年記念パーティは盛会のうちに終了した。終始和やかな雰囲気の中で交流が続き、創立60周年の節目にふさわしい盛大な記念パーティとなった。

6. むすび

本会は1966年の創立以来、設計工学分野の学術および技術の発展に寄与するとともに、産学官の交流促進に努めてきた。

創立60周年記念行事は、これまで本会を支えていただいた多くの会員、賛助会員ならびに関係各位への感謝を表すとともに、将来に向けた新たな発展を誓う機会となった。

本記念行事の開催にあたり、会場をご提供いただいた明治大学関係各位ならびにご臨席いただいた来賓各位、ご参加いただいた皆様、準備・運営にご尽力いただいた関係者各位に深く感謝申し上げます。

（記：宮川豊美理事）